

作成日：2023年7月3日

## 研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 可撤性義歯装着患者の予後調査—後ろ向き研究—

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象：可撤性義歯（IOD および IARPD を含む）を装着された患者さん

研究対象期間：2011年1月から2023年6月まで

#### 2. 研究目的・方法

歯の欠損が生じると口腔関連 QoL が低下し治療介入の契機となることや、歯の欠損に対する補綴歯科治療介入が患者さんの QoL の向上に大きな役割を果たしていることが近年明らかとなっています。補綴歯科治療の中でも可撤性義歯（取り外しの入れ歯）は多くの臨床で用いられていますが、義歯そのものの予後、さらには鉤歯（入れ歯のばねをかける歯）を含めた残存歯の予後については未だ不明な点が多くあります。また近年臨床応用されているインプラントと義歯を組み合わせた implant overdenture (IOD) および implant assisted removable partial denture (IARPD) の予後についても明らかになっていないことがあります。そこで、従来の義歯、IOD および IARPD を装着している患者さんの診療録等のデータを対象として口腔内および補綴装置の予後調査を行っています。

本研究を行うことで、今後欠損補綴を行う患者さんに対して、義歯・残存歯の予後、QoL の変化について説明することで、患者さんが補綴処置を選択する際の一助となることが期待されます。また、欠損様式による義歯や残存歯の予後が明らかとなり、歯科医師が補綴装置の選択およびその設計を行う根拠となることが期待されます。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日までです。

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

問診記録, 歯周検査, 口腔内写真, デンタル X 線写真, パノラマ X 線写真, CT 画像, QoL

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部歯科補綴学講座歯科補綴学部門 氏名：楠本友里子

住所：東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151（内線 295）

受付時間：平日 9 時～17 時

研究責任者：楠本友里子